

公開講演会のご案内

実態を知れば防げる 地震時の地盤災害

講師 東京電機大学名誉教授、東京電機大学総合研究所客員教授

安田 進 先生



講師プロフィール

昭和23年 広島市生まれ
昭和50年 東京大学大学院工学系研究科土木工学専攻博士課程修了
昭和50年 基礎地盤コンサルタンツ(株)入社昭和61年 九州工業大学工学部 助教授
平成 6年 東京電機大学理工学部 教授 平成28年 東京電機大学 副学長
平成30年 東京電機大学 名誉教授
平成30年 レジリエントスマートシティ研究所プロジェクト研究教授

講演要旨

大地震が発生すると地盤の液状化、盛土造成宅地の崩壊、がけ崩れ、軟弱地盤での強い揺れ、といった地盤に関係した被害が発生します。ただし、地震の揺れ方やその土地の地盤の種類によって、どんな被害が生じるか異なります。例えば、東日本大震災と本年発生した能登半島地震とも液状化により甚大な被害を受けましたが、東京湾岸の埋立地の被害と日本海の砂丘での住宅被害の様子は異なります。

そこで、代表的な大地震として関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災の際に発生した地盤災害の実態を述べ、近い将来襲来が予想されている南海トラフの地震と首都直下地震が発生した場合に、千葉県で生じると考えられる地盤災害と、それらに対して備える方法に関して述べます。

主催：一般社団法人東京電機大学校友会 千葉県支部

日時：令和6年6月15日（土） 13:00～14:30

受付開始12:30 入場 無料

会場：東京電機大学 千住キャンパス 1号館 2階1205室